

援助研究

援助現象への学際的アプローチ

入門

佐藤 寛編



アジア経済研究所

佐藤寛編

援助研究入門

— 援助現象への学際的アプローチ —

援助研究入門——援助現象への学際的アプローチ

アジアを見る眼94

1996年11月29日発行©
1998年4月10日第二刷発行
2001年10月22日第三刷発行

定価は表紙に表示してあります

編者 佐藤 寛

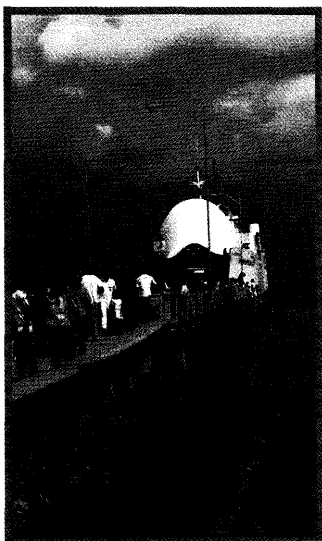
発行所 日本貿易振興会 アジア経済研究所
千葉市美浜区若葉3-2-2 〒261-8545
研究支援部 電話 043(299)9735 (販売)
FAX 043(299)9736 (販売)
E-mail: info@ide.go.jp
http://www.ide.go.jp

印刷所 有限会社メディカピーシー

落丁、乱丁はお取替え致します

無断転載を禁ず

ISBN 4-258-05094-6 C1233



開発援助の目的は経済成長のみではないし
途上国の人々の幸せは所得向上だけでは達成できない。
援助の目的とする「開発」は、人間生活の

すべての側面にわたる総合的・複合的問題である以上、
経済学だけでなく、政治学、社会学や人類学、心理学、地域研究など、
人々の生活にかかわるさまざまな視点を動員して

「援助現象」を考える学際的アプローチが必要なのではないだろうか。



定価 (本体1400円+税)

ISBN4-258-05094-6 C1233 ¥1400E

目次

まえがき

序章 本書のねらい——佐藤 寛 1

はじめに 2

1 援助を「現象」としてとらえる 4

2 援助とは何か 6

3 「援助」と「国際協力」 10

4 学際的アプローチ 11

5 「援助研究」の目的 12

6 本書の構成 13

第I部 マクロな視点

第1章 開発援助と政治学 —— 中川淳司 19

1 援助研究における政治学のアプローチの意義 20

2 総合的援助政策研究の試み

—— ODA四指針を素材に 22

第2章 開発援助（プログラム援助）と経済学 —— 朽木昭文 41

はじめに 42

1 経済学の役割 44

2 コンディショナリテイ 48

3 東アジアの成長モデル 60

むすび 69

第3章 開発援助とNGO論 —— 大橋正明 73

はじめに 74

1 ボランティアとNGO 78

2 開発と開発援助についてのODAとNGO 89

まとめにかえて 100

第Ⅱ部 ミクロな視点

第4章 開発援助と社会学 —— 佐藤 寛 105

はじめに 106

1 社会学にとっての援助 106

2 援助現象にとっての社会学 110

3 援助の社会的影響 114

4 援助に対する社会の反応

—— 普遍的枠組み 145

5 援助に対する社会の反応

—— 固有要因の働き 151

6 援助と社会 159

7 「学」と「現場」のインターアクション 163

第5章 開発援助（プロジェクト援助）と経済学 —— 中西 徹 165

はじめに 166

1 日本の政府開発援助とその事後評価 168

2 贈与(一) 無償資金協力 174

3 贈与(二) プロジェクト方式技術協力 183

4 政府間貸付 190

おわりに 198

第6章 開発援助と文化人類学 —— 山森正巳 203

はじめに 204

1 政府開発援助

—— 文化人類学に期待されるもの 206

2 開発援助と文化人類学

—— 歴史的背景 210

3 開発援助と文化人類学

——対立点と接点 222

4 文化人類学者による開発援助への貢献と限界
まとめにかえて 239 231

第7章

開発援助と地域研究

——重富真一 247

1 地域研究の視座と援助現象 248

2 開発のための住民組織の事例分析 253

3 住民組織研究と地域の文脈

——おわりにかえて 273

第8章

開発援助と心理学

——久木田 純 281

1 人間の開発と心理学 282

2 開発パラダイムと心理学 287

3 開発パラダイムと心理学の理論 290

4 開発パラダイムのシフトにおける心理学の役割 302

補章

「ODA学入門」講義記録——中川淳司 321

はじめに 322

1 「ODA学入門」のコンセプト

——目標、対象、方法 324

2 「ODA学入門」のハードウェアとソフトウェア

——カリキュラム、教材 329

3 「ODA学入門」の三年

——むすびにかえて 338

5 開発問題と社会心理学の研究 305

6 学際的研究と開発研究における人間科学領域の形成 310

(写真)

表||多くの途上国では家族生活のための水の調達は女性の仕事であり、多くの時間と労力を費やさなければならぬ。(撮影・久木田純)

裏上||円借款によって「日比友好道路」の一環として建設された船着き場と供与されたフェリー・ボート(撮影・中西徹)

裏下||イエメン結核対策プロジェクトで技術指導をする放射線専門家(写真提供・国際協力事業団)

佐藤	寛編	『援助の社会的影響』	アジア経済研究所、	経済協力シリーズ一七二
佐藤	寛編	『援助と社会の固有要因』	アジア経済研究所、	経済協力シリーズ一七七
佐藤	寛編	『援助の実施と現地行政』	アジア経済研究所、	経済協力シリーズ一八一